

関東 UHF コンテストのつぶやき

de JA1RIZ

今回も期待を込めて、2400MHz 帯に参加しましたが、1 ポイントのみで涙の結果に終わりました。

今回の移動ポイントは、いつもの「比良の丘」と市役所の近くのグランドサイドの 2か所。

ところで、今回は 2400 というバンドでの運用なので、「ノイズ」には無縁であると思っていたが、思わぬところに伏兵がいるのに気が付いたのです！

それは近年の情報機器の普及で、無線 LAN、Wi-Fi や Bluetooth によるノイズ（？）の影響である。ちょうど 2.4GHzあたりの周波数帯が使われているようだ。比良の丘ではあまり感じなかったが、市役所付近（官庁街／都市部）ではどの方向もノイズで『9 +20dB』もの強度（FM 受信時）になった。特に建物方向ではその強度が更に大きくなかった。

今回は、自局がこのノイズの中で CQ を連発したが不発で、どうしてお客様（コールしてくれる局）がきてくれないかと嘆いていたのです。本当は応答があったのかもしれないが、ノイズで相手の信号がとれなかつたのかもしれない！

実は、前のコンテストの際、相手局の信号はソコソコのレベルで受信できていたが、全く応答のない局が数局あって、『なんて耳が悪いのだろう！』なんて思っていたが、こういうノイズの中でやっていたのかなア……などと思えば納得できるというものである。

いまや、2.4G 帯だけでなく、5.6G 帯もそれら OA 機器類からのノイズ（妨害といいたいが、悲しくもアマチュア無線は二次業務用との位置づけである。）を受けているようだ。先日は某・自然豊かな公園の防犯カメラの近くでも同様のノイズがあった。これも画像を Wi-Fi などで飛ばしているせいか？などと思った次第です。

情報機器の氾濫、太陽光発電、エアコンなどの普及により、これらノイズの氾濫は増えるばかり。

これらは便利な文明の利器ではあるが、我ら無線家にとっては実に厄介なものだ。この先、雑音（？）が無くなる日がやってくるのだろうか？

(完)